

いせ



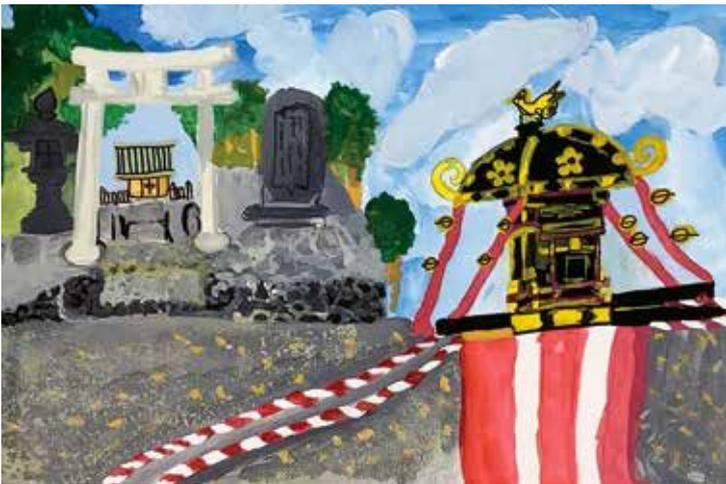
第78号

令和7年2月15日号

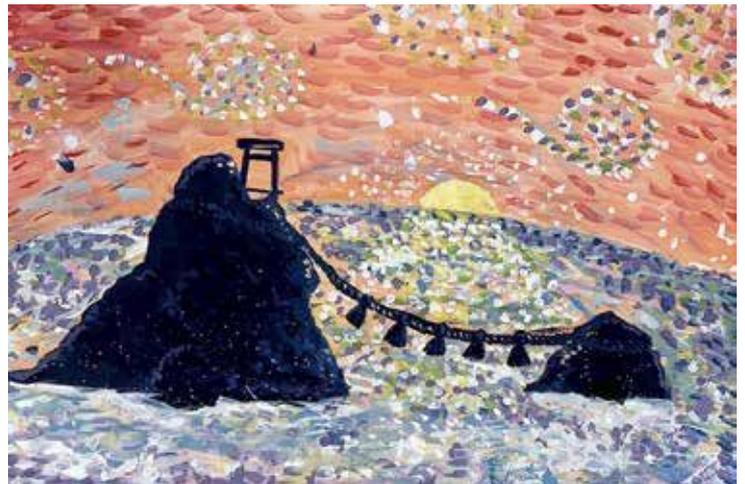
発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

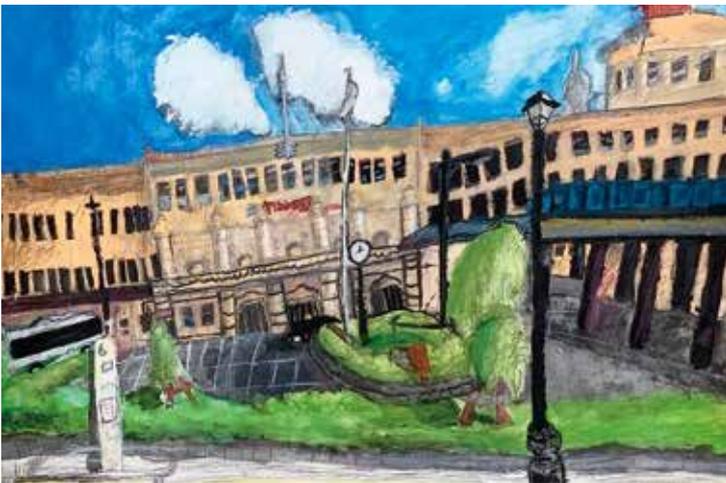
題字 進修小学校5年 浦野 杏 さん



天神祭り (早修小学校2年 日野 唯愛さん)



夫婦岩の朝 (二見浦小学校4年 秤谷 こはるさん)



宇治山田 (明倫小学校5年 田畑 佑真さん)

令和6年度伊勢市の景観絵画コンクールより 最優秀賞

(低学年の部) 早修小学校2年	ひのいちか 日野 唯愛さん
(中学年の部) 二見浦小学校4年	はかりや 秤谷 こはるさん
(高学年の部) 明倫小学校5年	たばた ゆうま 田畑 佑真さん

の作品を採用しました。

主な記事

議長・副議長就任あいさつ…………… 2ページ

常任委員会等委員紹介…………… 5～6ページ

市政を問う (一般質問)…………… 7～11ページ

議員研修会を実施…………… 12ページ

令和6年 12月定例会

議会の新しい体制がスタート

社会生活の変化に対応できるよう

さらなる議会改革を進めます

意全力で職務を全うしてまいる所存です。

市議会では、これまで歴代議長のもとに議会改革が進められ、特に広報広聴活動においては、高校生議会や議会ツアー等の取り組みが先進地事例と評価されています。また、議会ICTの推進によるペーパーレス化も進んでおり、これらの流れを止めることなく、さらなる研鑽に努めてまいります。

た議会のさらなる活性化に努めてまいります。

二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の皆さまから信頼される議会の実現のため、尽力してまいりたいと決意を新たにしたいところでございます。

議会選出の監査委員

令和6年12月市議会定例会を、12月2日から18日までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、12月3日に議長・副議長の選挙を行い、議長に浜口和久議員、副議長に辻孝記議員を選任、また同日、議会選出の監査委員として中村功議員を選出しました。

翌4日には、常任委員会委員の選任等を行いました。また、令和6年度補正予算をはじめとする42議案が提出され、本会議、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決・承認・同意しました。

そのほか、請願1件を継続審査とし、発議1件を原案どおり可決しました。

12月定例会日程

12月

- 2日。本会議
(議案の提案説明等)
。全員協議会
- 3日。本会議
(正副議長選挙等)
。各派代表者会議
。議会運営委員会
。全員協議会
- 4日。本会議(常任委員会委員選任等)
。各派代表者会議
。議会運営委員会
。議会運営委員会
。付託等・一般質問)
- 9日。議会運営委員会
。本会議(委員会審査付託等・一般質問)
- 10日。本会議(一般質問)
。総務政策委員会
。教育民生委員会
。同協議会
。産業建設委員会
。同協議会
- 12日。議会運営委員会
。産業建設委員会
。教育民生委員会
- 13日。教育民生委員会
- 16日。総務政策委員会
- 18日。議会運営委員会
。本会議
(議案採決等)
。産業建設委員会
。教育民生委員会
。総務政策委員会
。全員協議会



辻 孝記
副議長



浜口 和久
議長

市民の皆さまには、日ごろから市議会の活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。このたび私ども両名は、12月市議会定例会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。微力ではございますが、皆さまの信頼に応えられるよう、誠心誠

人口減少や少子高齢化、AI技術の発展等による社会生活の変化に対応していくためには、スピード感を持った柔軟な議会運営が求められます。議員全員参加型の議会改革を進め、闊達な議論ができるよう、常任委員会や特別委員会を含め



中村 功
監査委員

一般質問と答弁の概要は7～11ページをご覧ください。

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

〔議案〕

議案番号	案件名	議案番号	案件名
110	専決事項の承認を求めること（令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第5号））	131	いせ市民活動センターの指定管理者の指定
111	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）	132	事務用パソコンの取得
112	令和6年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	133	学習者用端末の取得
113	令和6年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	134	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業の協定の変更
114	令和6年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	135	市道の路線の廃止
115	令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第2号）	136	市道の路線の認定
116	令和6年度伊勢市水道事業会計補正予算（第2号）	137	伊勢市公平委員会委員の選任につき同意を求めること
117	令和6年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）	138	伊勢市教育委員会委員の任命につき同意を求めること
118	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理及び経過措置に関する条例の制定	139	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第7号）
119	伊勢市市税条例の一部改正	140	財産の無償貸付の変更
120	伊勢市学習等供用施設条例の一部改正	141	伊勢市監査委員の選任につき同意を求めること
121	伊勢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	142	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）
122	伊勢市吹上駐車場条例の一部改正	143	令和6年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
123	伊勢市立公民館の指定管理者の指定	144	令和6年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
124	尾崎号堂記念館の指定管理者の指定	145	令和6年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第3号）
125	山田奉行所記念館の指定管理者の指定	146	令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第3号）
126	伊勢市学習等供用施設の指定管理者の指定	147	令和6年度伊勢市病院事業会計補正予算（第1号）
127	伊勢市小俣児童体育館の指定管理者の指定	148	令和6年度伊勢市水道事業会計補正予算（第3号）
128	伊勢市小俣北部保健福祉会館の指定管理者の指定	149	令和6年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第2号）
129	伊勢市二見健康管理増進センターの指定管理者の指定	150	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第9号）
130	伊勢市地区コミュニティセンターの指定管理者の指定	151	伊勢市職員給与と条例等の一部改正

〔発議〕

24	伊勢市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
----	-------------------------

賛否の分かれた案件

〔請願〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議員名	三野	川口	大西	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	浜口	宿
議案番号	泰嗣	浩	要一	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	和久	典泰
議案番号	案件名																審議結果						
請願第3号	小中学校給食無償化を求める請願																賛成多数 継続審査						
	○	×	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×

- ・ 請願第3号は継続審査とすることに対する賛否を諮りました。
- ・ ○は賛成、×は反対。浜口議長は通常採決に加わりません。

常任委員会等委員紹介

◎ 委員長 ○ 副委員長 (委員は議席順)

12月定例会において、常任委員会等の委員を選任しました。委員の構成は次のとおりです。常任委員会および議会運営委員会委員の任期は、令和6年12月10日から令和7年11月26日までとなります。

常任委員会

総務政策委員会

市の総合計画や行財政改革、防災、税に関することなど、行政の基幹的事項を審査します。

継続調査案件

- 総合計画推進事業に関する事項
- 公共施設マネジメントに関する事項
- 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する事項
- 防災対策に関する事項
- ふるさと未来づくりに関する事項
- 郷土資料館の整備に関する事項

◎西山	則夫	井村	貴志	
○大西	要一	岡田	善行	
	三野	泰嗣	辻	孝記
	川口	浩		

※浜口和久議長は議長職のため、総務政策委員会委員を辞退

教育民生委員会

ごみなどの環境問題、健康、福祉、病院、教育などに関する事項を審査します。

継続調査案件

- カーボンニュートラルに関する事項
- 新型コロナウイルス感染症対策に関する事項
- 子ども子育て支援に関する事項
- 保健福祉拠点に関する事項
- 伊勢市病院事業に関する事項
- 学校教育に関する事項

◎野崎	隆太	北村	勝	
○楠木	宏彦	吉井	詩子	
	宮崎	誠	吉岡	勝裕
	中村	功	藤原	清史

産業建設委員会

農林水産、商工、観光、交通、都市計画、上下水道などに関する事項を審査します。

継続調査案件

- 農林水産に関する事項
- 商業活性化に関する事項
- 観光振興に関する事項
- 地域公共交通に関する事項
- 内宮周辺駐車場のあり方に関する事項
- 中心市街地活性化に関する事項

◎品川	幸久	野口	佳子	
○久保	真	福井	輝夫	
	上村	和生	宿	典泰
	鈴木	豊司		

議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則や委員会条例等の改廃および議長の諮問に関する事項を審査します。

継続調査案件

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

◎藤原	清史	上村	和生	
○吉井	詩子	楠木	宏彦	
	大西	要一	野崎	隆太
	宮崎	誠	福井	輝夫
	久保	真		

※継続調査案件…本会議の閉会中も審査または調査を継続する必要があると認められた案件

議会のあり方調査特別委員会

(任期：令和3年12月10日～令和7年11月26日)

議会のあり方調査特別委員会は、市民に開かれた議会のあり方についての調査を行うため、議長を除く22名の議員で構成しています。この特別委員会では3つの分科会を設置し、専門的に協議、検討を行っています。

議会のあり方調査特別委員会

※構成：議長を除く全員

- ◎福井 輝夫
- 楠木 宏彦 ほか20名

企画調整部会

※構成：議会のあり方調査特別委員会の
委員長、副委員長、
各分科会の会長、副会長
※必要に応じて開催

政策等検討分科会

検討項目

- 政策立案・政策提言
- 予算・決算審査のあり方
- 議会基本条例の検証・改正
- 事務局体制の強化・充実
- その他議会改革に関すること

- ◎辻 孝記
- 大西 要一
- 中村 功
- 楠木 宏彦
- 鈴木 豊司
- 西山 則夫
- 宿 典泰

広報広聴検討分科会

検討項目

- 市議会だより
- 高校生議会
- 議会報告会・意見交換会
- 議会アンケート
- 議会放送
- その他広報広聴に関すること

- ◎上村 和生
- 久保 真
- 井村 貴志
- 野崎 隆太
- 野口 佳子
- 品川 幸久
- 藤原 清史

議会 ICT 検討分科会

検討項目

- ペーパーレス化
- オンライン会議
- SNS、ホームページ
- 議会のデジタルデバイド対策
- その他議会 ICT に関すること

- ◎北村 勝
- 宮崎 誠
- 三野 泰嗣
- 川口 浩
- 吉井 詩子
- 岡田 善行
- 福井 輝夫
- 吉岡 勝裕

◎委員長・会長 ○副委員長・副会長 (委員は議席順)

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

8人の議員が質問

12月9日 吉井 詩子 7ページ
 北村 勝 8ページ
 久保 真 8ページ
 川口 浩 9ページ

12月10日 吉岡 勝裕 9ページ
 大西 要一 10ページ
 楠木 宏彦 10ページ
 野崎 隆太 11ページ

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

一般質問



よしい うたこ
吉井 詩子

(公明党)

終活情報登録事業に取り組む考えはないか

動画はこちらから



答 支援する側にとっても有効で大事である。研究を進めたい

問 国土交通省等が作成した「住まいのエンディングノート」を活用する考えはないか。

答 空き家を未然に防ぐ対策として有効であるため、機会をとらえて啓発をしていく。

問 亡くなった方がインターネット上で保有している資産の確認や、サービスの解約等ができず、遺族が困る場合がある。デジタル終活の重要性についてどのように考えるか。

答 デジタル遺品を残す人の増加が予想されるため、デジタル終活に関する情報の周知啓発に努めたい。

問 国は身元保証人がないことを理由に入院や施設の入所を断らないように通知やガイドラインを出しているが、実態としては連絡先や死亡時の引き受けといった意味の身元保証が必要となるケースがある。身寄りのない高齢者等が抱える課題にどう取り組むのか。

答 今後、身元保証の支援

や死後の事務支援についても関係機関との意見交換、聞き取り調査を実施していくこととしている。

問 特定の支援者に負担が偏ることがないように、身寄りがない人への支援者役割分担シート等を作成し、活用している自治体もあるが、研究しているか。

答 支援者側の立場の意見も聞きながらまとめていきたい。

問 民間の家族代行サービス事業を公的な機関が行う高齢者等終身サポート事業のモデル事業についても研究してはどうか。

答 先進事例の確認もしながら検討したい。



住まいのエンディングノート

一般質問

一般質問



きたむら まさる
北村 勝

(未来創成)

高向小俣線に接続する高向神田線との間の未整備区間の早期着工を

動画はこちらから



答 事業着手の前倒しについて、慎重に検討していきたい

問 高向小俣線の工事と用地買収の進捗状況について伺いたい。

答 令和14年度の供用を目指し、全10基の橋脚のうち2基が完成し、3基が施工中である。また、橋台、上部工についても進めていく。用地買収は、約80%の進捗である。

問 現在は、宮川2丁目地内から宮川橋を渡り、小俣町方面へ、J R線路下から堤防を通り、堤防下流および高向方面へ通行できるが、宮川橋架替工事と堤防拡張工事により、通行できなくなると聞いている。現状のJ R付近を通る堤防道路の機能回復が必要不可欠であると考えるが。

答 宮川右岸の堤防から高向小俣線への直接の乗り入れは安全面で難しいが、J R付近の道路の機能回復については、国が行う堤防整備の計画と併せて検討・協議していきたい。

問 高向小俣線に接続予定である高向神田線の未整備

区間の工事が令和14年以降の計画となっている。交通量もさらに増え、危険であると考えられるので、令和8年には調査費をつけ、早急に取りかかるべきでは。

答 今後、次期計画路線の事業着手については、社会情勢や財政状況を見極めながら前倒しについて慎重に検討していきたい。

自治会加入の状況と自治会の抱える課題について

問 伊勢市の現状は。

答 市内の自治会加入率は近年低下傾向にあり、令和6年4月1日時点で約75%となっており、5年前と比べ約4%減少している。



高向側からみた高向小俣線工事の様子

子どもたちが健やかに生きていくための健康教育について尋ねる

動画はこちらから



答 第4次伊勢市食育推進計画に基づき、生涯を通して、心身ともに健康で、安全な生活を送るための基礎を培う教育を推進する

問 調理師不足による小学校給食調理場の集約についての考え方を問う。

答 給食を調理する学校と調理された給食を受け入れる学校でグループを組み、配送方式による運営を進めることで、調理師不足を解消しようとしている。不足している調理師の募集については、ホームページや公共施設において案内チラシ等を掲示し周知するとともに、ハローワークにブースを設け、説明会を開催する等、人材の確保に努めている。

問 給食後の歯磨き習慣や、県指導のもと始まるフッ化物洗口について進め方を問う。

答 公立幼稚園2園および小学校6校において、通年で全児童が食後の歯磨きを実施している。フッ化物洗口は洗口剤等について導入年度を含め、4年間は県から無償提供を受けることができるが、子どもたちの虫歯抑制に有効であることから、5年目以降も引き続き進めていきたい。

問 給食費の収納率が低下することで、食の質が低下しないのか。

答 未納の児童生徒には、学校において文書や電話、家庭訪問等、実情に応じた方法で対応している。引き続き安全でおいしい給食が提供できるよう取り組みを進める。

問 目の病気と電子機器との関連と対策を問う。

答 タブレット端末等の電子機器による健康被害を防ぐために、使用時間についてのルールを記載したりフレットを児童生徒や保護者に配布している。入学説明会等においては、大学の研究報告等も交えながら正しい使い方を啓発している。

その他の質問

・学校給食の無償化について



一般質問



かわぐち ひろし
川口 浩

(日本共産党)

2025年の被爆・終戦80周年に向けた取り組みは

答 非核・平和空襲展で特別展示などを検討していく

動画はこちらから



問 広島に原爆が投下された8月6日午前8時15分、長崎に原爆が投下された8月9日午前11時2分、終戦の日の8月15日正午に合わせ、防災行政無線を使って市民に黙祷の呼びかけを行うてはどうか。各地で実施例がある。

答 防災行政無線は基本的に緊急にお知らせする必要があるものに限って放送している。

問 市の防災行政無線局管理運用規程を読むと、黙祷の呼びかけも実施できるように解釈できるが。

答 夜勤明けの人、乳幼児がいる家庭にも音声が届くことを考慮し、事前に告知できるものは広報いせや公式LINEで広報する。

問 旧日本軍の軍事施設跡など、戦争の歴史が刻み込まれた戦争遺跡が市内に点在している。保存、記録の現状は。

答 可能な範囲で記録保存をしている。定期的に状態確認するまでには至っていない。



東大淀町にある監的所（爆弾等の的中を観測していた戦争遺跡）

問 小中学校の適正規模化・適正配置基本計画について

問 第1期計画の終了が見通せない中、第2期計画の進修、修道、四郷の3小学校統合は事実上の白紙か。

答 第2期は第1期終了のめどが立った段階で改めて検討する。児童生徒数の推移に変化がみられ、それらを踏まえた見直しが必要である。

問 文部科学省の手引きでは小規模校の利点にも触れている。小規模校、少人数教育のプラス面を反映させる考えはあるか。

答 見直しの際に考慮する。

一般質問



よしおか かつひろ
吉岡 勝裕

(勢風会)

出生数減少の対策は

答 結婚、出産、子育ての希望がかなえられる環境整備に努めていきたい

動画はこちらから



問 伊勢市における出生数は、令和4年度705人、令和5年度601人と、大幅に減少した。今年度も減少傾向である。さらなる対策が必要と考えるが。

答 新型コロナウイルスの影響によって、出会う機会や関係性を育む機会等が減少したことが、婚姻数や出生数減少の要因の一つと考えている。結婚・出産・子育ての希望がかなえられる環境整備に努めていきたい。

問 出生数の減少によって、少子化も加速している。令和4年の合計特殊出生率は1.33だった。少子化への対策は。

答 晩婚化や未婚化、子どもを持つことへの経済的不安等が要因ではと考えている。伊勢市では様々な子育て支援を進めているが、国や県とも連携していきたい。

問 県外や市外への進学・就職等による社会減によって、人口減少も続いている。地元中小企業への支援が必要では。

答 近隣市町とも連携しながら職場見学や企業説明会等、若者と企業の接点づくりの観点で取り組んでいる。今年度は就業体験としてアウトオブキツザニアinいせにも取り組んだ。今後も関係団体と連携しながら、人材確保を支援していきたい。

問 今後の人口戦略の考えは。

答 これまで、将来の伊勢市の姿の作成や、伊勢まち・ひと・しごと創生総合戦略を作成し、全庁的に進めてきた。現在人口ビジョンの改定を進めており、本市の実態を踏まえた自然減・社会減への対策を講じていきたい。またデジタル技術の活用により、人口減少の中でも、社会を維持できるための取り組みを進めていきたい。





おおにし よういち
大西 要一

(未来創成)

地域経済の活性化について伺いたい

動画は
こちらから



一般質問

答 事業者のニーズを把握するとともに、関係団体と連携し、経済の活性化に努めていきたい

- 問** 経済活性化策として他の市町では地域通貨を発行しているが、市の考えを聞きたい。
- 答** 資金の調達やその運用等に課題があることから、関係する団体とも慎重に検討していきたい。
- 問** お店を開業した方やこれから開業に向け頑張ろうという方にどのような支援があるのか聞きたい。
- 答** 起業家の育成のための伊勢市ビジネスサポートセンターの設置、ECポータルサイトの構築、商業環境の整備やにぎわいの創出等を支援する商業魅力アップ支援補助金、伊勢ならではの食品メニューや土産物等の開発支援として新産業創出支援等を行っている。
- 豊浜大橋の整備について**
- 問** 通勤通学時に大変渋滞し、車道幅も狭いため危険であることを市は認識しているのか聞きたい。
- 答** 車道幅が6mで歩道が整備されていないため、車両と歩行者、自転車が入り交じり、通勤通学時間帯には慢性的に渋滞が発生していることを確認している。



豊浜大橋の交通状況

- 問** 今後、豊浜大橋を整備し拡幅することはできないのか聞きたい。
- 答** 昭和39年に架けられた県道であり、老朽化が進んでいる箇所も見受けられるが、直ちに架け替えが必要な状況ではなく、三重県からは、長寿命化修繕計画に基づき適切に管理していくと聞いている。
- 問** 豊浜大橋南詰めの信号を調整して渋滞を緩和できないか聞きたい。
- 答** 信号機の点灯時間を調整することで一定の効果は得られると考えるが、三重県や三重県公安委員会とも相談していきたい。
- その他の質問**
- 広報・広聴について
- 小中学校の適正規模化・適正配置基本計画の見直しについて



くすき ひろひこ
楠木 宏彦

(日本共産党)

会計年度任用職員の継続雇用は可能か

動画は
こちらから



一般質問

答 再度任用できる回数については、制限を設けていない

- 問** 障がい者任用において、どのような合理的配慮が行われているか。
- 答** 職場内での定期的な相談を通じて本人の障がいの特性を把握することや、周りの職員が障がいの特性について正しい知識や理解を深めることにより、合理的配慮を進めている。
- 問** 学力向上に向けた取り組みについて
- 答** 学力テストは、国、県、市が実施する3種類あるが、その活用については、
- 問** それぞれの特徴を役立てながら、個に応じた指導や授業改善に役立てているか。
- 答** かつて、ワークブック等の一律の指導が行われていたが、現在はどうか。
- 問** 学習到達度に応じて、柔軟な対応をしているか。
- 答** 分数計算等で、操作はできても、概念的な把握ができていないというケースがある。どのように指導していくか。
- 問** 分数そのものの概念等
- 答** 障がいの定着は、児童生徒の協働的な学びの中で育まれる。教員は、協働的な学びを支援して対話を引き出す仲間として関わっていく。
- 問** できない問題を詠が分からぬまま繰り返し解かせるのでは、「わかる」に繋がらないのではないか。
- 答** 個別最適な学びとは、わからない問題を繰り返し解くということではなく、自ら苦手なところに気づき、自ら調整して学習を続けられるようにすること。これは協働的な学びと一体で実現できると考える。
- 問** 協働的な学びを進めるうえで、タブレット端末はどう活用するのか。
- 答** 考えの共有を促すことで、話し合い活動が活性化され、深い学びにつながる学習データベースとしても活用できる。



※地域通貨…特定の地域やコミュニティ内だけで利用できる通貨。地域経済やコミュニティを活性化させる効果が期待される。

一般質問



のざきりゅうた
野崎 隆太

(自由民主党)

新市制 20 周年について向き合う市の考え方は

動画は
こちらから



答 本市のまちづくりを考えるうえでも特に大きな意味のあるものと考えている

問 令和7年度は新市制20周年の記念すべき年である。予算編成の取り組み方針は。

答 20年という期間は、生まれた子どもが大人になる、また、本市に御鎮座をする神宮における式年遷宮も20年を周期としており、本市のまちづくりを考えるうえでも特に大きな意味のあるものと考えている。20周年という年を多くの市民の皆さまとともに祝いし、また、伊勢のまちのこれまでを振り返り、そして次の20年を考えていただく機会とするべく、現在進めている令和7年度予算の編成作業において、各種事業の検討、調整を進めている。

問 市長任期4年目の予算、新市制20周年の予算についてどのように考えるか。

答 令和7年度は、次の式年遷宮がいよいよ始まる年となる。まずは山口祭からお木曳きまで、地域の皆さまと様々な行事を盛り上げていくことが大事なポイントであると思っている。各



市制 20 周年記念ロゴ

地域を回ると、少子化の関係で曳き手の方々の悩み事も聞かせていただいている。しっかりと次世代へ継承できる環境づくり、そして次のご遷宮に向かって国内外へ情報発信をしていく、こういったことを念頭に進めていきたい。また、宮川橋の架け替えや御木本道路の改修等のハード面の整備もしっかりと進めていきたい。20周年に向け、若い方々、子どもたちに魅力あるまちとして発信できる環境をつくると同時に子どもたちや若者の郷土愛を育成していくようなことを、物価高騰等々で厳しくなってくる部分もあるが、できる限り職員や関係する皆さま方と共に進めていきたい。

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeページも利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

12月定例会会議録

12月定例会の詳細は、「12月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ2月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

分科会委員の変更

令和6年12月定例会において、藤原清史前議長が新たに広報広聴検討分科会委員となりました。

3月定例会は
2月25日～3月24日
の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

表紙の題字は

市内小学校5年生の方々に応募いただいた作品の中から、今回は浦野さんの「いせ」を採用しました。
※令和6年12月号から、募集方法を一部変更し「市内小学校の5年生」を対象に募集しています。



将来の夢

世界で活躍する日本人にあこがれているので、私も外国語を勉強して、世界で活躍できる人になりたいです。

進修小学校5年 ^{うらの}浦野 ^{あん}杏

議員研修会を実施

令和6年11月12日(火)に、議員の資質向上を図るため、伊勢市教育研究所ICTアドバイザーとして、学校でのICT活用や情報モラル教育に取り組まれている出口晃氏を講師にお招きし、「議員研修会」を実施しました。

『情報モラルについて』をテーマに、インターネットの歴史やゲーム障害、ネット依存等、インターネット習慣が脳に与える影響等について、科学的研究結果を交え、ご教示いただきました。今後の議会活動に生かしていきたいと考えています。



インターネット社会の歩き方についての講演

問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）
〒516-8601
伊勢市岩淵1丁目7番29号
☎ 0596-21-5630
FAX 0596-21-5631
✉ gikai@city.ise.mie.jp

編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会

会 長	上村 和生	委 員	井村 貴志
副 会 長	久保 真		野崎 隆太
			野口 佳子
			品川 幸久
			藤原 清史